



確かな学力の向上をめざして【6月】

ICT を活用して“主体的な学び”を引き出す



GIGAスクール構想の実現に向けて「1人1台端末」の教育環境が実現します。各学校において、それぞれの教科等でICTを活用しながら、児童生徒の個別最適な学びと、社会とつながる協働的な学びを実現していくことが重要となります。

1人1台の端末を、児童生徒が鉛筆やノートと同じように文房具として使えるようにするため、児童生徒が端末を使う学習活動を積極的に設定していきましょう。

中部地域の学校での実践例

1人1台の端末環境を生かして、中部域内でも様々な活用が進められています。



カメラ機能の活用による自己評価 (小学校体育科)

プレルボール運動において、カメラ機能で録画した自分の演技を、スローモーション機能を使って見直ししながら、自己評価に基づき練習することで、技術の向上を目指します。



調査・まとめ活動での活用 (小学校社会科)



端末を使って、情報を収集し、スライドにまとめた後で、学級全体で共有し、円滑な話し合いにつなげます。

パフォーマンステストでの活用 (中学校外国語科)



撮影した動画をグループや学級で視聴し合い、よい点を見つけるなどして、コミュニケーション能力の向上を目指します。



この他にも、県内でGoogle フォーム機能を使って算数の小テストを実施している小学校もあるみたいだよ。

令和3年度は、以下の3つのスキルが指導できるようになることを、教員の行動目標として取組を進めます。

- スキル1) カメラ機能を使う授業場面をつくる
- スキル2) ファイル共有機能を使う授業場面をつくる
- スキル3) Google フォームの機能を使う授業場面をつくる

これらの活動を意識的に取り入れ、各教科等で活用していきましょう。



ICT 活用教育推進地域や学びの創造先進校で実践された授業などの事例が、毎月1回、金曜日を基本とした月末の午後4時～午後4時40分に配信されます。

『とっとりGIGAスクール構想推進チャンネル』⇒ Meet 会議コード【gigachan】より入室できます
※詳しくは、令和3年5月20日に各学校に送信しているC4th個人連絡をご確認ください。